

日本海に浮かぶ島根県隠岐郡海士（あま）町は、過疎の離島を、学校教育をとおした人づくりや、地元産業である漁業を経済的に自立させるなど、全国から注目される輝くまちづくりを進めています。



県の里まちづくり推進協議会

会長 岡田章文

平成27年度井原市がんばる地域応援補助金事業

『いっしょにしようや〜まちづくり』

県の里まちづくり推進協議会まちづくり講座
県主公民館生涯学習講座

第11号

発行
県の里まちづくり推進協議会
県主地区自治連合協議会
県主公民館
県主地区社会福祉協議会

その立役者である山内道雄町長をお招きして、2月19日に「人が輝く、地域が輝く、離島からの挑戦」と題して、「いっしょにしまちづくりまちづくり講座」を開催しました。

講座開催日までには、町外から多くの問い合わせがある中、当日は、地元はもとより、町外からも多くの方に参加していただきました。海士町は離島の上、過疎地のため「ないものはない」という原点から、町民と職員と島内企業が一体となって、豊富な海の幸を

使った商品のブランド化を成功させたり、「牛突き」で有名な隠岐牛の増産・商品化のために特区制度を活用したりして、ビジネス面で成功を収めています。

さらに、過疎化の影響で入学者数が激減し、島唯一の県立高校の隠岐島前高校では、学校教育はもろろんのこと、将来、海士町を支える「人づくりの場」としても活用するために、島外からの生徒を留学生として受入れています。その結果生徒数は大幅に回復しています。

海士町のまちづくりの成功の陰には、町職員の賃金カットがあります。決して良いことではないが、役場が本気になったことにより、町民も本気になった。その上、職員のモチベーションも上がった。職員の意識改革により、町民の意識も変わった。現



実に身を切ることで、島は、まちは変わると実感したと話されました。

海士町とは、後鳥羽上皇とのご縁で交流を続けていますが、当初山内町長は、県主を訪れて下田中先生の「いまやらねばたれがやる」という名言を知り、扁額を購入し、町長室へ掲げ、座右の銘とされているということでした。

気さくな人柄でお話をいただき、元気で、本気・やる気をおこさせる講座でした。



地域のきずなを深める場所として

「ホッと一息しません?カフェ」



代表 鳥越愛子

昨年、社会福祉協議会をはじめ、多くのボランティアの皆様のご協力によりオープン致しました「ホッとカフェ」も、この記事が掲載される頃には、やっと一歳を迎えようとしている頃だと思っています。

お陰さまで、「月曜日が楽しみ」「カフェに行けば知り合いに会える」「普段着で行ける」「ここが無かったら閉じこもっていったかも」等々、本当にいろんな声を聴かせていただき、開店日を楽しみに来てくださる方も少しずつ増え、開設の目的「人と人をつなぐ地域の憩いの場」としての機能を果たしつつあると感じています。

年齢問わず、地域の方が気軽に集まってお茶を飲みながらお喋りし、あ

たたかいホッととした気持ちになってもらいたいと願う名付けたカフェですが、少し残念なのは、若い世代や子どもたちの参加が少ないことです。遠くまで行かれないという声もあります。

そこで、新たな事業として「キッズカフェ」と「移動カフェ」を開催することとしています。

「キッズカフェ」は、地域の子どもたちは地域全体で育て見守っていこうという結びつきの強化を図るため、休日の月曜日に子育て中の方にもスタッフとして協力して頂き、身近な大人が見守る中で、子どもたち自身がお客やスタッフとして参加し、あいさつ、注文の受付、飲み物の手渡しなどの体験をとおして、思いやりや感謝の心が育まれ、地域の方

との交流を図ることによりお互いに顔がわかる関係が出来、子どもたちにとっては安心・安全な居場所になればと考えています。

また、カフェが地域に向く「移動カフェ」は、遠方であるとか、行く手立てが無い、話し相手がいないなどの理由で『カフェ』に来ることが出来ない方たちに「人と人をつなぐ地域の憩いの場・交流の場」を実感して頂き、少しでも引きこもりがちの方が無くなればと考えています。

またカフェでは、時にはイベント等を開催し交流の活性化を図ることにより、地域が生き生きとして明るく元気になり、地域のきずなが一層深められる場所として成長できたらと願っています。

まだ、よちよち歩きのカフェですが、地域の皆様のお力添えを頂きながら、一緒に育てていききたいと思っています。



第41回

井原市操法訓練大会

去る、3月20日、井原市操法訓練大会が開催されました。

1月初旬から3か月弱、日夜訓練を重ね、大会では日頃の訓練の成果を十分出し切った操法ができました。

今後も県主分団は、一致団結して、消防団活動に取り組んでまいります。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

井原市操法訓練大会体制

指揮者……	森岡 正篤 (3部)
1番員……	藤井 晃伸 (3部)
2番員……	加藤 綾時 (1部)
3番員……	藤井 信也 (1部)
補助員……	尾山 雅史 (2部)



県主地区ボランティアセンター開設

社協 藤井 護

県主地区社会福祉協議会では、「お互いさま」の精神で支え・助け合える地域づくりをめざし、井原市社会福祉協議会のモデル事業として「県主地区ボランティアセンター」を開設するため、公民館分室に電話、パソコン、ファックスなどの機材を設置しました。

開設の目的は、お年寄りや障害のある方、母子・父子家庭等の方が、日常生活で困った時に地域住民による有償助け合い活動を行い生活の支援を行うものです。これから、住民ニーズ(困りごと)に対応するため、ボランティア会員の募集を行います。県主地区の「安心・安全」な生活を推進していくため、本趣旨にご賛同いただき多くの方に会員となつてご活躍をお願いいたします。

ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度の終わりにあたり



本年度の公民館行事・活動が計画通りに、盛会に終了することができました。

公民館の役員の皆さん、体育部・文化部委員の皆さん、盆踊り実行委員の皆さん、各学級の役員の皆さん、各団体の皆さんの大変なお骨折りのおかげです。

たくさんの方の公民館活動を通じて、県主の皆さん全員が、地域(ひと・まち・れきし・しぜん)の魅力、良さを改めて感じられたものと確信しています。

県主公民館のさらなる充

受講生募集

公民館で行われている各種講座の新年度会員を募集しています。

◎ グラウンド

◎ ゴルフ同好会

◎ 琴同好会

◎ 生け花

◎ 傘踊り保存会

◎ パンフラー

◎ 太極拳

各講座ともお問い合わせは公民館まで

☎ 62-7812

実のために、来年度も、皆様方のご協力、ご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

館長 山本勝福
主事 岡田 忍



12/29 公民館大掃除



県

主

の

わ

だ

い



1/3 新年互礼会



12/20 しめなわ集会



3 年生は縄をなう事から始めました。



12/20

救命ボトル設置(更新)





1/12 盛大に開催されたとんど集会



1/29・30 生涯学習フェスタに出展

3/13 大谷西国33観音巡り



2/27 鳥羽踊り子ども伝承教室 研修旅行



健康講座

「楽しい食育講座」の出前講座を沢山の方が参加して下さいました。

冬場流行して薬もないノロウイルスの予防についてスライドを使い分かりやすく教えてもらいました。予防には手洗いを2回する事と二枚貝のカキ・アサリなどは必ず中まで火を通して食べると良いそうです。



手洗いチェッカーで洗い残しの体験もしました。きれいに洗ったつもりでもしわや爪の周りに汚れが残っていました。

私が自分にも思い当たると感じたのが、水を一日にコップ5杯飲むと良いそうです。寒いので無理と思っていたら食事と食事の間にコップ一杯の水を必ず飲むように心がけることなら出来ると思いました。食事も10品目を目標に作りたいと思います。短い時間でしたが楽しい勉強の場になりました。ありがとうございました。



社協 渡辺洋子



県主でスッゴイ人発見!

「農力向上プランコンテスト」
北川江里子さん大賞獲得

耕作放棄地の活用などをテーマにした「農力向上プランコンテスト」の最終プレゼンテーションがあり地元北川江里子さん(矢掛高校2年生)が大賞に選ばれました。野菜をハーフトや星形などに変形させる『おもしろ野菜』の特産品化や、荒廃地のビニールハウスを使って新しい交流スペースを作る案など、それぞれが創意工夫したプランを提示した。約100点の応募があり、その中で北川さんは、地



元高校生らと協力して料理教室や田植体験など定期開催をすることを提案して大賞に選ばれたもの。若い世代が農業に真剣に向き合える機会をいただき、新たなまちづくりにつながる地域活性化を期待している。

県の里まちづくり推進協議会 27年度事業のまとめ

平成27年度

がんばる地域応援補助金

県の里まちづくり推進協議会

広報紙発行事業



【目的】
各種団体発行の情報紙の統合と情報の一元化並びに労務・経費の節減

【事業内容】
地域情報全般を一つの紙面で提供する

【良い点・工夫点・課題など】
情報が一本化され、紙面も一段と見やすくなり、経費面・労務面においても効率化され地域に定着してきた。
他部会と連携しチラシ・冊子などを発行し広報活動を推進する。

「ふるさとのかかし」「かかしコンテスト」による地域活性化事業



【目的】
当地域の大きな課題である、衰退する農業を考える機会づくり



【事業内容】
①かかし祭り(かかしコンテスト)の実施
②「ふるさとのかかし」づくり講座の開催
③「ふるさとのかかし」サミットへの参加



【良い点・工夫点・課題など】
継続的に開催することにより、子どもから大人まで農業について考える良い機会が増え地域への関心が高まってきている。
また、昨年度から実施している「かかし祭り」は地元産の食材や加工食品などの販売を行い、まちづくり事業の運営資金として活用している。

6次産業地元の一番開発事業



【目的】
農業振興の方策探し、事業の具体化



【事業内容】
サツマイモを使った、焼酎造りに取り組み、特産品としての位置づけをする。また、焼酎づくりをきっかけに、サツマイモの生産を地域農業の産物として広めていく

【良い点・工夫点・課題など】
「サツマイモ」の栽培をまちぐるみで行い、安定した生産体制の構築と「芋焼酎 里の夢」をブランド化への推進をしていく。
また、サツマイモに続く作物の生産を考えていきたい。

人材育成事業

【目的】
主体的に行動ができる人材育成



【事業内容】
島根県海士町 町長 山内道雄氏を招へいしての講座開催



【良い点・工夫点・課題など】
過疎の離島を輝く町に変身させた「本気改革」を学び、主体的に行動できる人が多く育つことを願っている。

命のペットボトル事業



【目的】
「ため池」に落水しても、駆け付けた人が救命する救命浮環を製作

【事業内容】
「ペットボトル」を活用した救命浮環を作成して設置と看板製作



【良い点・工夫点・課題など】
あってはならない不慮の事故ではあるが、いざという時に機能するように定期的なメンテナンスを実施していく。

ふるさと便利屋さん事業



【目的】
高齢者世帯や一人暮らしの世帯の軽微な作業を肩代わり

【事業内容】
○電球・蛍光灯の交換 ○小さな工事 ○草刈り・簡単な剪定
○支障木の伐採

【良い点・工夫点・課題など】
県の里まちづくり推進協議会の根幹事業としていきたい。

とんとん集会に参加して



県主小学校 一年生の コメント

わたしは、とんとんしゅうかいで、おもちゃをやりてさとうしゅうゆにつけてたべて、せんざいをたべたのがおいしかったです。

ぼくは、きょうとんとんしゅうかいで、せんざいをたべました。せんざいはおいしかったです。

六ねん生がやぐらに火をつけて、やぐらがもえました。おもちとせんざいをたべました。おいしかったです。

わたしは、とんとんしゅうかいをしました。やきもちとせんざいをたべました。おいしかったです。はやく6年になっておもちをつきたいです。

六年はとんとんしゅうかいでやぐらに火をつけてやきました。たかくあがりました。かきやめとしめなわをよさしました。

ぼくは、みんなでおもちつきをみました。すごかったです。

わたしは、おもちをたべるとおもちはおいしかったです。おもちをやりたところがつかったです。

みんなでおもちをたべたのがおいしかったです。おもちつきをみたのがうれしかったです。

わたしは、6ねんせいがおもちをついたところがすごいとおもいました。またらいねんもやりたいです。



ご寄付ありがとうございます

ございました

県主地区社会福祉協議会へ

木下 浩次様 (亡父)
藤井 裕史様 (亡母)
石井 滋久様 (亡父)
藤井 護様 (亡母)

いつもありがとうございます

県主公民館へ

正月用しめ飾り
森岡 通様
鉢植 え花
青野公民館様
蔵本 精子様

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

出生おめでとう

ございます

井上正己・陽子さん
女の子 ももちゃん
男の子 太郎ちゃん
(10月16日生まれ)

お知らせ

5月29日

▽第37回町民体育祭

6月

▽案山子コンテスト募集

県主公民館分室に電話が付きしました。

☎0866-65-2510